

第165回寺子屋フォーラム

【日時】 2016年12月23日（金）13：20-17：00（開場：12：50）

【会場】 中央区立環境情報センター 研修室2

●概要

2016年の寺子屋フォーラムは参加者全員で「社会とテクノ未来塾の未来を考える」アイデア出しとアクションプランについて、ワールドカフェ形式で議論する場となりました。

AIやIoTの導入が進む社会の未来は？幸福な社会には物質的な豊かさと精神的な豊かさのどちらが必要？などを考えながら、テクノ未来塾の未来について議論しました。

議論の中で「世代の受け渡しの場」を作っていくというアイデアが出ましたが、複数の未来のシナリオを描き提言していただくだけではなく、自ら実践する事により次の世代にエンジニアとしての考え方や行動を受け継いでいく、そんな場を作っていけたらという夢が膨らみました。若い人達を集めるためのテーマ選定、仮説とマーケティングによる実証、サークルを増やす、塾生のデータベース共有など、色々なアイデアとプランが出てきましたので、2017年の動きが楽しみです。

●参加者の感想

〔1〕

年末恒例の寺子屋フォーラムに参加してきました。

今回は講演ではなくワールドカフェ形式の議論が中心で「社会とテクノ未来塾の未来」というお題目でアイデアとアクションプランを考えました。プロジェクトやサークル活動での報告からもっと軽いノリでできるイベントがという話も飛び出しました。

すぐ固まりそうになる脳を刺激し活性化させるよい活動になりました。

<おまけ>

持続可能な未来社会を考えたとき、なぜ江戸時代は持続可能だったのか、明治以降何が変わったのかを疑問に感じて調べてみました。ネット上には既に調べた人の報告がたくさんありました。これまで知らな

かった衝撃的な事実が見えて来ました。100年先を見るのに役立ちそうです。

〔2〕

個人的には2点気づきがあったのが収穫でした。

1つは、動画を取るなら1分で勝負すること。

テクノ未来塾のホームページで動画を流したい、やるなら長いものをとばかり考えていましたが、確かに1分くらいじゃないと皆見てくれないと。そういえばPPAPも1分ぐらいの映像でしたね。

せっかく多数の人が集まって話し合ったのだから、何かしらのアウトプットを理事会から示してほしいと思います。

〔3〕

今回は「社会とテクノ未来塾の未来」をワールドカフェ形式で議論し考えるという事で、「叶えたい未来」と「アクション」がキーだったと思います。

ところで、今回もそうですが、過去のフォーラムや合宿ゼミなどでも感じているのは、我々はすでに相当の知識をこれまでのフォーラムなども通して、あるいは個人的に勉強して持っていて、そこから想定される叶えたい未来を実現するためにアクションする時期に来ているということです。

また、自分たちよりも若い世代に伝えていくべきことも沢山あって、それもやっていく必要があると思います。

彼ら若い世代はすでに自分たちで実行している人も沢山いますが、そうでない人もいるので、そういった人を巻き込んで考えていくことで、どういう未来を志向すべきなのか、叶えるべきなのかに関してより良い議論とアクションができると思います。

とすると、やはり新たな人を入れて活動をさらに進めていくべきということになると思います。

今回の議論でも同様の意見が結構出ていたと思います。

昨年を振り返ってみても、自分自身も未来塾でいろいろとさせてもらっていますが、何か動くことで新たな発見もありますし、いろんな人を巻き込んでできたという達成感もありますし、また頑張ろうという気にもなりますし、“ やってみる ” ということはやっぱり大切なんだと思います。

しかも、その「質」はこれまで未来塾を通して勉強してきたこともあって、社会的に見れば相当のものであるのは間違いなく、その知識などはある意味で社会に還元する（あるいは問いかける）べきものになっていると思います。

それはやればやるほど自分の気付きも得られるので、相乗効果があると思います。

ということで、寺子屋フォーラムを終えての感想は、未来塾は「勉強の場である」と同時に「叶えたい未来に向けて実践する場」であるということになるのかなと思います。

〔4〕

「社会と未来塾の未来について考える」というテーマで参加者全員でWCを行いながら議論するというフォーラムでした。

社会の未来はいくつもの選択肢があるが、未来塾は技術という切り口で一つの未来を提言できるのではないか。未来塾が提言するのは「明るく豊かな社会」で、それはAIを上手く活用して「100年ライフ」と「スマートエイジング」を実践していけば実現可能ではないかと考えました。

注：100年ライフ：定年後も100歳まで健康かつ活動的に生活できること。

スマートエイジング：絶えず学習を行い、脳力を上げていくこと。
それはつまり、未来塾の塾生それぞれが定年後も技術者としてどのように社会に貢献していけるかにかかっているということになります。

格差社会、環境問題といった社会の課題を、個々人が明るく豊かな社会を構想できるようにするためには、大量生産、技術者の使い捨てと

いった技術の課題を、AIを活用して少量多品種なニーズに合ったユーザーエクスペリエンスを実現できるように変えていかなければならない。未来塾塾生に期待されることは、生涯現役で仕事ができ、社会で広く活躍できて、未来（10-30年後）を提言できること、とまとめました。

現在の未来塾のそれぞれの活動はどちらかと言えば自己実現的、自己完結的であるので、それを社会貢献的、社会とつながる方向に変えていければと思います。

- ・フォーラムの公開化
- ・他の異業種交流会との比較や交流
- ・塾生1人1サークル活動

阿部先生が前回紹介されたビッグバンイノベーションの本も読んでみました。ITを使うことで安価かつ容易に市場実験を繰り返すことが出来、失敗しても損失は少ない。その試行錯誤の中で、絶妙の製品と優れたビジネスモデルが組み合わせられるときには、一気に市場が広がると記述しています。

来年は塾生がそれぞれ何か1つ実践してみる年にするのも良いかもしれません。サークル、プロジェクトリーダーは別にしても100事例が集まって1つでも成功すればよし、0でも、100の失敗事例が集まるので、次に何かつながるのではと思いました。

昨年は自主ゼミで「2052」の紹介を担当して、暗くて消極的な未来の世界予測に影響されましたが、その後のフォーラムを通じて意識を変えていけたのが良かったです。

PS

阿部先生の100年ライフとスマートエイジングは、100年ライフ→スマートエイジング、スマートエイジング→スマートブレイン又はアクティブラーニングの方がしっくりくるような気がしました。